



し ぜんさいがいじ  
2 自然災害時

ひなん  
2-7 避難

ひなんばしよ かくにん  
(1) 避難場所などの確認

<p>いちじ ひなんばしよ 一時避難場所 いちじしゅうごうばしよ (一時集合場所)</p>	<p>さいがい お いちじてき み まも ひなん ばしよ こういきひなん 災害が起こったときに一時的に身を守るために避難する場所。また、広域避難 ばしよ いどう しゅうごうばしよ しょう ちゅうがっこう きんじょ こうえん 場所へ移動するための集合場所。小・中学校や近所の公園。</p>
<p>こういきひなんばしよ 広域避難場所</p>	<p>だいしんさい かさい はっせい かくだい ひなんさき ばしよ だいきぼ かさい 大震災などで火災が発生・拡大したときの避難先となる場所。大規模な火災か み まも じゅうぶん ひろ ばしよ おお こうえん し くちょうそん らも身を守る十分な広さのある場所として、大きな公園などが市区町村によ さだ おお こうえん ひろば ってあらかじめ定められています。大きな公園・広場。</p>

ひなんばしよ ひと みどりいろ だえん はし ひなんばしよ か もじ かんばん  
避難場所には、人が緑色の楕円に走りこんでいるイラストと、「避難場所」と書かれた文字の看板があり  
ます。

さいがいじ そな し くちょうそん やくしょ ぼうさい にゅうしゅ じぶん す ちいき いちじ ひなんば  
災害時に備えて、まず市区町村の役所で防災マップを入手し、自分の住んでいる地域の一時避難場  
しよ こういきひなんばしよ かくにん じたく ひなんばしよ けいろ かくにん  
所、広域避難場所がどこなのかを確認し、自宅から避難場所までの経路を確認しておきましょう。

ひなんかんこく  
(2) 避難勧告

さいがい はっせい はっせい ちいき きけん せま ばあい しょうそんちよう ひなんかん  
災害が発生し、または発生するおそれがあり、地域に危険が迫っている場合、市町村長が「避難勧  
こく はつれい す ちいき ひなんかんこく はつれい はつれい したが しゅうだん ひなん  
告」を発令します。お住まいの地域に「避難勧告」が発令されたときは、発令に従い、集団で避難してく  
ひ けむり ちか み かおく しんすい あき もくぜん きけん せま ばあい  
ださい。ただし、火や煙が近くに見える、家屋が浸水してきたなど、明らかに目前に危険が迫っている場合  
じぶん はんだん じしゆてき ひなん  
には、自分の判断ですぐ自主的に避難しましょう。

ひなんほうほう  
(3) 避難方法

も もの すく ある ひなん きほん こ こうれいしゃ びょうき ひと  
持ち物はできるだけ少なくし、歩いて避難することが基本です。子どもや高齢者、病気やケガの人がいれ  
みな たす あ ひなん  
ば、皆で助け合って避難しましょう。